

**公益社団法人 大阪府臨床検査技師会**  
**平成 25 年度第 4 回（12 月）理事会議事録**

- ◇ 日 時： 平成 25 年 12 月 12 日（木）午後 18 時 30 分～20 時 00 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、山田、酒井、栗本、山西、  
増田、杉山、久保田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 宮野、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

**【 討議内容 】**

**I. 行動報告（11 月分）**

- 11 月 6 日 大放技・大臨技合同フォーラム会議  
吉本、増田、杉山
- 7 日 支部長会  
田畑、出野、後藤
- 9 日 公益社団法人設立記念祝賀会打ち合わせ  
（新大阪ワシントンホテルプラザ）  
吉本、清水
- 9 日 日臨技医療安全対策委員会  
運天
- 10 日 日臨技医療安全管理者研修会  
運天
- 11 日 日衛協近畿支部臨床検査普及月間大会  
運天、荒木
- 12 日 大阪府登録衛生検査所精度管理審議会  
井戸田
- 14 日 理事会  
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、出野、山田、宮野、  
酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事
- 17 日 府民健康フォーラム  
運天、吉本、高田、清水、山田、宮野、増田、杉山
- 17 日 検査と健康展  
運天、吉本、高田、清水、山田、宮野、増田、杉山
- 19 日 渉外部会  
吉本、清水、増田
- 20 日 大阪府地域保健感染症課（谷掛氏）訪問  
運天
- 20 日 総務・会計部会  
吉本、荒木、栗本、山田、久保田

- 21日 情報組織部会  
竹浦、井戸田、杉山、酒井
- 21日 地区事業部会  
田畑、出野、後藤、栗本
- 26日 経営セミナー  
運天、竹浦、荒木、杉山
- 26日 学術部会  
高田、宮野、山西
- 27日 大阪府地域保健感染症課(沢田氏)訪問  
運天、荒木
- 27日 大阪府・大阪市衛生検査所精度管理担当者との面談  
運天、荒木
- 27日 常務理事会  
運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑
- 29日 日臨技施設認証地臨技審査  
竹浦、山西
- 29日 日臨技連盟常任執行委員会  
運天
- 30日 日臨技理事会  
運天
- 30日 日臨技渉部委員会  
運天
- 30日 HIV予防啓発講演会  
運天、清水

## II. 経過報告

### 1. 日臨技関係

- 1) 日臨技役員候補者選出日程は以下のとおり。
  - ・告示日：平成26年1月10日（金）
  - ・立候補者受付：平成26年1月27日（月）～2月3日（月）まで
  - ・投票受付期間：平成26年3月17日（月）～4月1日（火）まで
  - ・開票日：平成26年4月5日（土）
- 2) 認知症認定準備委員会を設置する。
- 3) 事務局臨時職員を1名募集採用する。
- 4) 季刊誌「ピペット」を創刊した。印刷部数は7万部。  
イベントでの配布や会員施設、各種関係団体、高校に配布した。
- 5) IFBLSの年会費約120万円およびAAMLSの年会費約6.4万円を指定口座に送金した。
- 6) 台風30号で大きな被害を受けたフィリピンの技師会に5万円の見舞金を送ることにした。
- 7) 平成25年度認定試験申請は、認定心電検査技師会103名、認定臨床染色体遺伝子検査師6名であった。

8) 日臨技総合監理検査技師制度の受講申請者は48名であった。

〈近畿支部学会準備委員会〉委員会の開催なし

## 2. 事務局

〈総務部〉11月20日(水)に部会を開催した。

- ・平成26年度の会員継続・会費納入依頼・賠償責任保険案内について検討した。
- ・大臨技会長賞の対応について検討した。
- ・大臨技登録学生(oems)制度細則(案)について検討した。
- ・スケジューラー運用規程案について検討した。
- ・公益社団法人設立記念祝賀会について検討した。
- ・世話人委嘱状について検討した。
- ・新・組織運営規程(案)について検討した。
- ・大臨技ニュース11月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉11月20日(水)に部会を開催した。

- ・10月度収支計算書を作成した。
- ・11月分事務員給与を送金した。

〈渉外部〉11月19日(火)に部会を開催した。

- ・府民健康フォーラムについて開催後報告を行った。  
11月17日(日)13:00~17:00、ブリーゼタワー7階
- ・下記の日臨技公益委託事業について報告等を行った。
  - ①全国検査と健康展について開催後報告を行った。  
11月17日(日)13:00~17:00、ブリーゼタワー7階他
  - ②HIV予防啓発講演会について進捗状況を報告した。  
11月30日(土)15:00~17:00、日本医療学院専門学校
  - ③がん検診フォーラムについて進捗状況を報告した。  
平成26年3月15日(土)14:00~16:45、大阪府医師協同組合本館8階

## 3. 事業局

〈情報組織部〉11月21日(木)に部会を開催した。

- ・第30回技師長会の内容と構成について検討した。  
平成26年2月22日(土)開催

〈地区事業部〉11月21日(木)に部会を開催した。

- ・施設連絡者会について、内容を保険点数+α(案)、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画に関する件とし、保険点数改訂に関する講師の候補者について検討した。  
平成26年3月29日(土)、大阪産業創造館にて開催
- ・地区事業部、支部の名称変更について検討した。

〈学術部〉11月26日(火)に部会を開催した。

- ・第9回学術部講演会の具体的な内容について検討した。
- ・来年度の予算と企画について検討した。

## Ⅲ. 報告事項

1. 大臨技行事ブッキング対応策（スケジューラー）について（栗本理事）
  - ・汎用性のあるスケジュール管理ソフトを使用した対策を考えている。
  - ・前提として、重複してはいけない研修会およびルールを予め決めておく。
  - ・具体的な回避対策については総務・会計部会で検討する。
2. 大臨技会員証について（吉本副会長）
  - ・平成26年度から封書タイプからハガキタイプへと変更する予定である。
3. その他
  - 1) 大阪府地域医療推進協議会（運天会長）

大阪府地域医療推進協議会が12月9日に開催され、以下の決議を行った。

    - ・国民皆保険制度を堅持する。
    - ・医療に不平等をもたらさない。
    - ・混合診療の全面解禁はしない。
    - ・営利企業を医療機関へ参入させない。
    - ・医療における消費税問題を抜本的に解決させる。
    - ・医療財源を確保する。
    - ・経済活動を優先した安易な規制緩和を行わない
  - 2) 日本救急検査技師認定機構について（運天会長）
    - ・11月26日（火）に日臨技の宮島会長と日本救急検査技師認定機構関係者2名で前向きな話し合いが行われた。
  - 3) 講師料の領収証について（荒木常務理事）
    - ・11月～12月分の領収証を1月10日までに提出するように要請した。
  - 4) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会について（田畑理事）
    - ・12月6日（金）～8日（日）に開催され、田畑理事が受講した。
    - 認定制度を作る予定はなく、主に検査後の検査説明ができる臨床検査技師を育成することが目的である。
    - 受講者数5,000名を目標とする。
    - 日臨技から各都道府県技師会で2日間の講習会の開催を要望している。
    - 予算は日臨技生涯教育関連予算として5万円のみのものである。
  - 5) 日臨技の施設認証について（竹浦副会長）
    - ・大阪府下の参加施設は11施設あり、本日、各施設からの提出資料のチェックを全て終了し日臨技に発送した。

#### IV. 議 題

1. 組織運営規程案について（吉本副会長）
  - ・公益法人取得後の組織運営規程（案）について検討した。
  - ・主な変更点としては、地区名称の変更、役員候補者選出委員会の制定、審査委員会の廃止、各部事業の追加・変更等である。
  - ・来月の理事会で最終確認後、決定とする。
2. 日臨技季刊誌「ピペット」の配布協力施設募集について（吉本副会長）
  - ・一般の方々への臨床検査技師の認知度アップのため、当季刊誌を病院等の施設に置き配布する

- ・ 全国で 500 施設、都道府県当たり 10 施設を目安に募集している。
  - ・ 現在、7 施設から配布協力の返事をもたらしている。
  - ・ 配布対象となる季刊誌は第 2 号からで、平成 26 年 1 月に発行を予定している。
3. 大臨技登録学生 (oems) 制度案について (栗本理事)
- ・ 大臨技登録学生制度細則 (案) について総務・会計部会で検討した内容を報告した。
  - ・ 前回から変更になった点は、大臨技入会費の無料化を廃止し、代案として入会后 1 年間は参加費 1,000 円以下の研修会等への参加費を無料にすることで承認された。
4. 備品について (高田常務理事)
- ・ 各部でのプリンター等の什器備品の所持は認めないこととした。
5. 近畿圏臨床検査技師会員への対応について (運天会長)
- ・ 近畿臨床検査技師会が平成 26 年 3 月末日で解散し、日臨技の近畿支部に吸収される。  
このため、近畿臨床検査技師会での取り決めである近畿圏の臨床検査技師会員は近畿一円の研修会に会員として参加できるという条件について検討することとなり、当会としては近畿臨床検査技師会の解散後は各都道府県単位で対応するという方向で意見がまとまった。
6. 大阪府・大阪市衛生検査所精度管理専門委員会について (運天会長)
- ・ 大阪府と大阪市より当会に対し、来年度の衛生検査所精度管理専門委員の選出依頼があった。
  - ・ 現行委員は、大阪府については、石田氏 (大阪市立大学医学部附属病院)、井戸田理事 (大阪府立成人病センター)、田畑氏 (北野病院)、村瀬氏 (松下記念病院)、山本氏 (大阪府立成人病センター)、吉村氏 (大阪大学医学部附属病院) の 6 名で、大阪市については、宇津野氏 (南大阪病院)、久保田理事 (大阪府立泉州救命救急センター)、佐藤氏 (近畿大学医学部附属病院)、宮野理事 (大阪府立母子保健総合医療センター)、山西理事 (天理医療大学)、吉本副会长 (白鷺病院) の 6 名である。
  - ・ 選考後、来月の理事会で報告することとした。
7. 部会議事録のホームページへの掲載について (竹浦副会长)
- ・ 大臨技行事のブックリング防止対策の一案として、各部会議事録の共有化が提案され承認された具体的な方法等については今後検討することとした。

以上